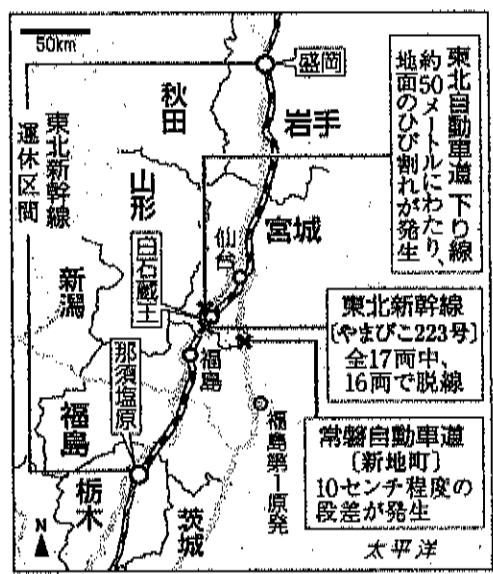


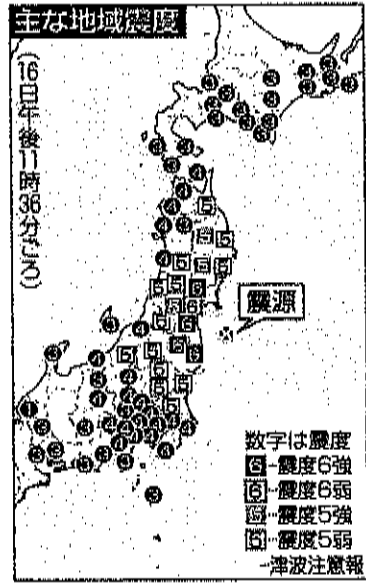
# 宮城・福島で震度6強

## M7.4 3人死亡、180人超けが

十六日午後十一時二十六分ごろ、宮城、福島両県で震度6強の地震が発生した。十七日までの共同通信の取材では、両県で計三人が死亡し、けが人は十人以上の百八十人超に上った。――関連③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿



東北新幹線下りのやまびこ223号が福島―白石蔵王間で脱線し、閉じ込められた乗客七十五人と乗員三人が線路を徒歩で避難した。けがはなかった。十七日は始発から那須塩原―盛岡間の上下線で運転を見合わせた。JR東日本は少なくとも二十一日まで続ける



(16日午後11時36分ごろ)と決定。福島―仙台間は三月中の再開は厳しく、四月以降になるとみている。原子力規制庁などによる

済み核燃料プールの冷却が停止し、その後には復旧した。経済産業省によると、東北電力の新仙台火力発電所などの計十二基が一時停止。東北や関東で最大計約二百二十万戸の大規模停電が起きた。

宮城、福島両県と仙台市は十七日、災害救助法の適用を決めた。厚生労働省によると、両県では午後八時時点で約三万四千戸が断水。防衛省は給水支援で陸上自衛隊を災害派遣した。東日本高速道路によると、宮城県白石市の東北自動車道下り線約五十分にわたりのひび割れが発生し一時通行止めに。常磐自動車道も一部通行止めとなり、十八日の再開を目指す。

死亡した三人は、宮城県登米市の七十七代男性と七ヶ浜町の七十七代男性、福島県相馬市の男性(70)。揺れに驚いて摔倒したほか、自宅二階から転落するなどしたとみられる。けが人は宮城県が九十一人超、福島県が五

十一人超。ほかに岩手、秋田、山形、茨城、栃木、埼玉、千葉、神奈川、新潟、山梨各県でもけが人が出た。気象庁によると、震源地は福島県沖で震源の深さは五七キ。マグニチュード(M)7.4と推定される。震度6強を観測したのは、宮城県は登米市と蔵王町、福島県は相馬、南相馬両市と国見町。約五時間にわたる津波注意報が発表され、宮城県の石巻港で三〇センチ各地で津波を観測した。福井県内各地でも震度1を観測した。